求道 第 參卷第 一號附錄 明治三十九年一月一日 發行(每月一日發行)

う宣言しる自第壹號を目录	人類の同價値
才追穿賣名至第拾號稱巨金	暗中の一徴光
Ĺ	信仰と不可思瞈
求 道	光明の人生
●親鸞聖人の人格	●人生の歸趣は佛天の御はから
●信仰秘鍵	●確信の行動
信仰は内心の革命也	煩悶と確信
信仰は人をして翻幹を脱せしむ	煩悶の兩面
信樂開發	源平時代の煩悶
歡喜愛樂	鎌倉時代の確信
●トルストイの非戰爭論と旅順の陷落	確信時代の曙光
●愚禿悲嘆述懷	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
◎修養小訓	前に 一角 に 一角
当信に不動の地盤也 ・	・
苦・細瞼	●不可思議論
修瓷の機會	●門戶と堂奥
絶對性の發揮	◎純他力主義
佛陀の命は力也	多言終開簽會
不可思路力	0 在市岛季
◎信仰的理想郷なる我が「羽村」	● 虚假俊善
●親鸞聖人の家庭参	●極樂無為涅槃界
◎信仰或問	▲東渓岩の造館
の塊也	●信仰上の治問題
喜ばれざる事によりて喜ぶ	●佛陀は光明也壽命也降親聲
無限の大憩に事實也	●十二光の賦
●惡人救濟の德音『歎異鈔』の真鰡』四	◎疑城胎宮懈慢界
◎信門樞機	❷信仰餘光
頃間と自己	自中上学夫

(-)

11		
光明の人生		
●人生の歸趣は佛天の御はからひ也・		Ŧi.
●確信の行動		4
類悶と確信		1
煩悶の兩面		
源平時代の煩悶		
鎌倉時代の確信		1
確信時代の曙光	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	1-5
信仰の確立		
確信の行動		· Vi
◉人格の陶冶		45
◉不可思議論		1
●門戶と堂奥		4
◎純他力主義	·····	4
●信樂開發論		1
●		仝
●極樂無為涅槃界		1
▲東溪君の遺簡		4
●信仰上の活問題		7
●佛陀は光明也壽命也[附親鸞嬰人「光明本」の圖]・		九
●十二光の賦		仝
◎疑城胎宮懈慢界	拾	30
●信仰餘光		2

信仰	信仰	1
と耐魔	と帝助	1
1		

講
61.1
=
話

2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	近
	角
	常
	觀
	:
全拾全全九全八全七全六全五全四全参貳全	-

苦悶を脱		思議の信
◎不可思議		智なり
▲消息二章		を秋篠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
◎佛の慈悲		
◎余が信仰	九	信仰
●佛境は不		道義
⑥信後の消		無窮
▲信仰書輸		大勝解也
@無我の質		
◎告白□1…		<b>無礙</b>
◎告白□		
◎告日   …		
◎母の愛と		の地盤
●『羽村』其外		b
◎ 黒田最勝書	<u>N</u>	
●身治して☆		<b>營</b> 喩
●信仰の經過	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	外賢
◎懺悔		の信
●最も要領を		の門戸は唯一のみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ふるの書	角常觀壹	関熱の時機近
●始めて光明		

●不可思議の實驗によりて半生の	◎佛 境は不可思議也	<ul><li>◎告白三</li><li>◎無我の實驗</li></ul> <li>▲信仰書輸二章</li>	◎ 告白二	<ul><li>●『羽村』其後の消息</li><li>●黒田最勝君を哭す</li><li>●身治して後心に及ぶ</li><li>●信仰の經過を人に告ぐるの書</li></ul>	): 要のてに服	の現支族寸巣目の形でより間で沿
追	宇渡近無	福求	岡塚本	清 近 · 佐水		
立	邊角	. [12]	田本谷	角: ~	44	
次	野知常	B 道 政	菊 大 暢	甲子三郎 觀 頭		
郞	順空觀員	<b>澄生</b>	僫 恐 音	郎觏:則		
郎						
· 拾 · 6	全九全7	1 全七全	全六全	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·····································	

	)	◎夜(長鹊)甲	◎短歌千首左	◎友に(連作短歌)	◎喜(長詩)	◎心のましを(連作短歌)甲	◎みすがた(長齢)白	◎我母に(器論)	· 咳		⑥生死巖頭に立つの時 ⋯⋯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	◎ 奉天通信	◎ 燈火爐火靜	<b>⑥</b> 断	◎喇嘛僧雜談	◎喇嘛僧談	◎法句經の二十節常	雜鈞		△巡龍者の背翰	◎五臺山探勝記纳	是是 四山		●威謝の披瀝《消息二章》	●引接の光明 ・上	
			~								本	原		角			盤				池				野	
	Γ		千								婉	運火		常			大				秀		i A		啓	
. 5	夫:	Ż	夫	さ	JIJ	之	佛	風			雅	郎	觀	觀			定				言				造	
						1					:	:	-It.	:												
P	9	··	:	·· 仝	:: 加	·· 仝	:	壹			÷	七七	九、十	八	七七	···				※	五.三			::	···	
			-	_					_								<u> </u>									
1	想動うかれ音:	●武家時代の女學派	◎佛陀の聖訓◎哲	新		◎異芳二草(散文詩)	⑧ 祖父の椅子(押部	@千本銀杏(同)…	圖詠雲八首(同)…	◎百花園(同)	◎孤獨の歎○連作短	おまかりける友をし	● 紅歌 · · · · · · · · · ·	◎秋騒(同)	◎悼亡弟(長歌)	◎歸省雜詠(同) …	◎小園秋來(連作短	◎ 龜井戸の藤(園)	⑥机上の花(同)	繳行々子(同)	圖植物園雞吟(同)	◎ 草庵の若葉(連作	劉四尾連湖(長詩).	❸山吹の歌(同上)…	◎陶工の歌(連作短歌	

(三)

ii.

學	武家時代の女學叢書●佛陀論●起信哲學圖日武家時代の女學叢書●佛陀論●起信哲學圖日	佛陀の聖訓◎哲學辭典・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	紹介	◎ 異芳三草(散文詩)	◎ 祖父の椅子(押部長詩) ・ ⋅・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	◎ 千本銀杏(同)	◎脉雲八首(同).•八	◎百花園(同)甲	孤獨の歎(連作短歌)左	身まかりける友をしのびて、竹の里人の忌日に作れる	<b>短歌</b>	<b>秋</b> 騷(同)	恒口弟(是瞅)	歸省雜詠(同)	小園秋來(連作短歌)左	龜井戸の藤(高)	机上の花(同)	行々子(同)左	◎植物園雞吟(局)	◎ 草庵の若葉(連作短歌)左	❷四尾連湖(長詩)┅仝	❸山吹の歌(同上)	
副 風之夫風之夫 之夫也風夫 之夫音夫 之	日の日					千	,		于	る欧		千			千			千	常	千			
	間雷			風	之…	夫	風	之…	夫…		之…	夫	也…	風	夬…		之…	夫…	晋	夫…		之	

◎靈華集 ●與言宗綱要●時代宗教●印度佛教史綱●佛教年代考

道學舍、 養の好時機◎求道會講話◎求道學舍第二、第三求道會 ●高師佛教會茶話會●佛教青年會夏期講習會●夏期修 ◎釋尊降誕奉祝の聖典◎新綠新想◎巢鴨大學の信仰會 等學校德風會夜會●信仰緣熟の氣運●求道學舍日曜講 ●遊行日記 ●求道學舍紀念日●清澤師三年忌●夏期修養の期來る ●高等師範の佛教會●西多摩求道會●上田求道會●求 ●第二求道會講話題●第二求道會講話題…………… ●軍艦日進戰死者追悼會●第三求道會の質况 題●第三求道會開設●日曜講話演題●第二求道會講話 概要◎表紙書: ●降誕會◎卒業期◎求道學舍の昨今◎求道學舍講話題 昨年の求道學舎日曜講話及談話會出席人名圖昨年の 仰談話會及出席人名◎昨年の第二求道會講話演 第二求道會、第三求道會講話題..... .....近 角 ●第一高 觀……七、八 壹

圖求道學舎の消息●求道の好期來る圖求道學舎第一第二求

◎信仰談話會の昨今◎寺本婉雅師の入藏談◎第一第二

第三求道會講話題

◎歳未の僻 ◎ 求道學舎第二第三 求道會講話題 ……………